

報道機関用

第138年会

講演ハイライト

KANAZAWA 2018

3月25日(日)~3月28日(水)

もてなしドーム、石川県立音楽堂、ANAクラウンプラザホテル金沢、ホテル金沢、
金沢市アートホール、ヴィサージュ、ホテル日航金沢、大原学園金沢校、
TKP金沢新幹線口会議室、TKP金沢カンファレンスセンター



公益社団法人 日本薬学会

目次

◆ ご挨拶	1
◆ 年会日程一覧	2
◆ 会場案内	8
◆ 系別一般学術発表演題数およびハイライト掲載数一覧...	14
◆ シンポジウム 講演番号について	14
◆ 一般学術発表 発表番号について	14
◆ シンポジウム キャッチフレーズ一覧	
特別シンポジウム、一般シンポジウム	15
大学院生シンポジウム.....	22
◆ 一般学術発表 キャッチフレーズ一覧	
化学系薬学	23
物理系薬学	24
生物系薬学	24
環境・衛生系薬学	25
医療系薬学	26
その他薬学	27
◆ 一般学術発表 ハイライト要旨	28



ご挨拶

日本薬学会第138年会は、2018年3月25日(日)から28日(水)までの4日間、金沢市の石川県立音楽堂、金沢市アートホール、ANAクラウンプラザホテル金沢など、金沢駅周辺の施設を使用して開催されます。今年度は、年会テーマとして「次世代に向けた創薬・医療イノベーションの今」を掲げました。

会頭講演、受賞講演および特別講演（海外5件、国内3件）に加え、4年目を迎えた国際創薬シンポジウム、理事会企画シンポジウム、国際交流シンポジウム2件、そして一般・大学院生シンポジウム73件が企画されています。併せて、第138年会特別企画AMED主催ワークショップおよび金沢大学特別企画ワークショップが開催されます。一般口頭発表は約1,000題、ポスター発表は約2,600題となっており、薬学領域の教育・研究に携わる研究者、教育者、薬剤師、薬学生などが参集し、難病の克服・治療を目指して日々開発される様々な創薬・薬物治療・医療の革新的技術を中心に、薬学関連研究の最前線と将来展望について議論し、情報を共有する場となるものと期待されます。

日本薬学会第138年会 組織委員長 向 智里

広報委員会は日本薬学会の様々な活動を会員のみならず、多くの方々に知っていただくための活動を行っております。日本薬学会の年会は、「くすりを生み出し育む」仕事、つまり基礎研究から臨床に至る多くの分野の、薬学に携わられている方々が集まり、交流する場です。本委員会では、会員による最新の研究成果を報道関係の皆様や一般の方々に知っていただくために、年会組織委員会と協力し、注目の研究成果およびシンポジウムの概要を「ハイライト集」として纏めました。

本冊子には、一般学術演題の中から組織委員会による、選りすぐりの発表が、研究分野ごとに掲載されています。専門外の方々にもわかり易いように、各発表・シンポジウムのキャッチコピー、概要がまとめてあります。

日本薬学会は「くすり」に関わる全ての人々が情報交換を行い、学術文化の発展に寄与することを目的としています。本冊子が、薬学会の活動をより身近に感じていただく一助となることを期待しております。さらに今年度、学会ホームページ(<http://www.pharm.or.jp/>)を刷新しました。「薬学と私」、「活薬の人」など人気コンテンツも是非一度ご覧いただきたいと存じます。



公益社団法人日本薬学会 広報委員長 米持 悦生